

舞鶴市議会 活動報告

- 福知山市議会主催の議員研修会への参加報告
(令和4年8月5日開催)

福知山市議会主催 議員研修会 実施日：令和4年8月5日

【講義テーマ】 「人口減少時代における地方議会の役割」

【研修目的】 議員の政策形成能力の向上を目的とする

【講師】 株式会社ローカルファースト研究所代表取締役 関 幸子 氏

【研修場所】 オンラインにて舞鶴市議会議場で受講

*本来開催場所の「ハピネスふくちやま 市民ホール」へ出向く予定が、コロナ禍でオンライン参加が可能となったため、舞鶴市議会議場での受講に変更。

【報告書作成】 鴨田 秋津



【講演内容】 「アフターコロナ デジタル化、SDGsをテコとした地域経営」

1. アフターコロナの社会

- ◎集中型の社会構造 ⇒ 分散ネットワーク型へシフトする。
- ◎医療・行政・家庭・産業など様々な分野でリモート化・オンライン化が加速。
- ◎今後は新しい社会像、価値観が創出される。

2. デジタルとSDGs

- ◎国・地方自治体・民間企業の様々な分野で「官民データ活用」できる基盤の整備が推進されるが、他国と比較して日本は遅れている。
- ◎SDGsの本質として、対処療法ではなく根本的な治療解決策。
格言で例えると「魚を与えず 竿を与えよ 釣りを教えよ」



議場でオンライン研修

福知山市議会主催 議員研修会 実施日：令和4年8月5日

3.人口減を前提とした地域経営 ⇒ 今後、人口増は見込めず、減少を前提とした社会制度への転換が必要。

◎総合的な将来ビジョンと実践戦略

・国と地方の役割分担が明確化され、地方自治体は、どんな地域にしたいか明確なビジョンが必要。

◎リーダー、仕掛け人(公務員)と実践する組織(行政と企業)

・首長のリーダーシップとマネジメントが必要で、部下の優秀な能力を把握し、適材適所に配置しなければならない。

◎予算

・今は行革の時代ではなく国の制度と予算を活用することに注視し、自治体は国のサインを読んで改革を進めるべき。

◎稼ぎ出す経済と産業：土地戦略

・地域資源を最大限に活用する、ローカルファーストの考えに重きを置くこと。

オンラインで質疑応答

◎議会の理解と応援(研修の目玉、本質)

- ・議会は時代の変化を的確に読み、首長、自治体が大胆な戦略を提案しやすい環境づくりが求められる。
- ・行政が国や府から予算を獲得できるよう応援し、獲得した予算を上手く使えるようチェック・アドバイスする役割が求められる。
- ・議会は賢い住民をつくり、まちへの貢献を促し自立できるよう促す。

【私の所感】 議会のリーダーシップが求められる。

議員の質向上を目指さなければ行政に遅れを取る。

結果 意義ある議論ができずその弊害は市民へ帰ってくる。

